

## 1. 別府市及び就学前教育の現状と予想について

### (1) 別府市の現状と予想

#### ① 別府市の総人口及び子ども人口の状況(現状と予想)

- ・ 少子高齢化傾向が続いていくことが予想される。

#### ② 就労の状況及び子ども・子育て支援事業計画実態調査結果

- ・ 母親の就労意向を踏まえると、さらに就学前の教育・保育ニーズが高まる  
ことが予想される。

### (2) 就学前教育の現状と予想

#### ① 各幼児教育施設における在籍園児数の状況と今後の予想

- ・ 今後、保護者ニーズが変化することが考えられ、市立幼稚園の園児数減少が  
進んでいくと予想される。

#### ② 特別支援教育

#### ③ 子育て支援

○ 預かり保育について

○ 認定こども園について

#### ④ 幼保小連携

## 2. 別府市における就学前教育等の今後の方向性

### (1) 別府市立幼稚園の今後の方向性

#### ① 育ちの保障につながる1学級あたりの園児数・学級数

- ・ 1学級20～30人であると友達から様々な影響や刺激を受けることができてよい。
- ・ 遊びを通して様々なことを学ぶためには、1学級より2学級あった方がよい。
- ・ 「子どもの育ちを保障すること、どんな保育をしたいのか」ということを前提とし、集団保障することが大事である。
- ・ 教員同士の育ち合いが期待され、保育内容に還元できるので、複数学級が望ましい。

- ・ **1学級あたりの適正園児数は20～30人が望ましい。**
- ・ **1園あたりの学級は複数、最低でも2学級がよい。**

## 2. 別府市における就学前教育等の今後の方向性

### (1) 別府市立幼稚園の今後の方向性

#### ② 市立幼稚園の適正配置について

- ・ 市立幼稚園は園舎の老朽化が進んでいる。統合して園舎の建て替えを計画しなければいけない時期にきているのではないか。
- ・ 平成元年から令和2年にかけて園児数が半減しているのに、同じ数の園があることについて、考える時期となっている。統合等することがよい方向に向くこと、変わることのメリットをきちんと示して改革を進められてはどうか。

**子どもの発達を保障するために望ましい園児集団を考慮し、行政は「未来に向かってこうすれば、このようによくなっていく」という新たな方向性を示す必要がある。**

## 2. 別府市における就学前教育等の今後の方向性

### (1) 別府市立幼稚園の今後の方向性

#### ③ 保育年限について

- ・ 市立幼稚園の教師は5歳児しか保育をしたことがないが、市立幼稚園でも1園でもよいので4歳児保育を実施すると、子どもを見る目が変わり、保育内容にも違いが出てくるのではないか。
- ・ 複数年保育は大切だが、市立幼稚園で実施されると私立幼稚園にとっては影響が大きい。

- ・ **本市には私立幼稚園・保育所が多数あることを考慮し、市立幼稚園で複数年保育について考えていく必要がある。**
- ・ **行政は市立幼稚園での複数年保育を十分検討する必要がある。**

## 2. 別府市における就学前教育等の今後の方向性

### (2) 質の高い就学前教育の充実に向けた役割分担

#### ① 特別支援教育

- ・ 民間施設では対応が難しい部分があるので、**公が担っていく部分**となる。

#### ② 保育者の資質向上・人員確保

- ・ **施設種や設置者を**超えて連携し、学び合う場を設け市全体で質を高めたい
- ・ 少人数の園では**日常的な研修**の充実が難しい。**ある程度の規模**がある方がよい。

#### ③ 幼保小連携

- ・ **市立幼稚園が中核**になり、つなぐ役割を担う。
- ・ 気軽に情報交換できるような**関係性**が大事である。**行政の後押し**があるとよい。

## 2. 別府市における就学前教育等の今後の方向性

### (2) 質の高い就学前教育の充実に向けた役割分担

#### ④ 子育て支援

- ・ 馴染めば、**仕事をしている方には魅力的**なのではないか。
- ・ 民間移管した保育所は狭かったり、定員が少なかったりする園が多く、移行が難しい。
- ・ 教育委員会と市長部局と窓口が二つに分かれている。**行政の一本化**ができていないから、認定こども園が増えないのではないか。
- ・ **認定こども園に移行するメリットや、別府市でどうしたいのかということ**を提示しないと、保護者のニーズは高まらない。